

身延山しだれ桜



2017年4月17日

日蓮宗総本山の久遠寺境内には、樹齢約400年のしだれ桜が2本あり、大きく垂れ下がる枝いっぱいに淡いピンクの花が咲き誇る様子は圧巻で、風格とともに優美さも感じさせます。身延山は多くの枝垂れ桜だけが植えられておりますが、久遠寺が創建されたのは鎌倉時代の14世紀頃でしょうから、しだれ桜は江戸時代に植樹されたこととなります。坂道や参道に咲くしだれ桜は小ぶりのものが多く観光用に近年になって植樹されたようでした。久遠寺は本山ですので檀家やお墓はなく、日蓮の墳墓と修行道場があるだけです。観光用斜行エレベーター、ロープウェイ(標高差760m、乗車時間7分)を乗り継いで奥乃院のある身延山(標高1153m)の展望台からは僧侶の修行の場である七面山(1982m)、鷹鳥山(1036m)だけでなく南アルプス、甲府盆地そして富士山も眺められました。

